

成果指標				
成果指標	後期高齢者医療関係の申請書受付件数			
指標設定の考え方	資格管理や医療給付等、後期高齢者医療制度を実施するために必要な申請件数を指標とし、制度が円滑に行われていることの成果を測る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	4000	4300	3900	3900
実績	4538	4565	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	高齢者医療確保法に基づく後期高齢者医療制度で定める市の業務であり、公平・公正な受益者負担となっており、継続は適正と考えます。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	後期高齢者医療制度は広域で運営を行い、一部事務を市町で担っている。今後においても公平・公正な受益者負担となっているために、継続が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題